



2022年3月期

決算説明会資料



2022年5月12日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

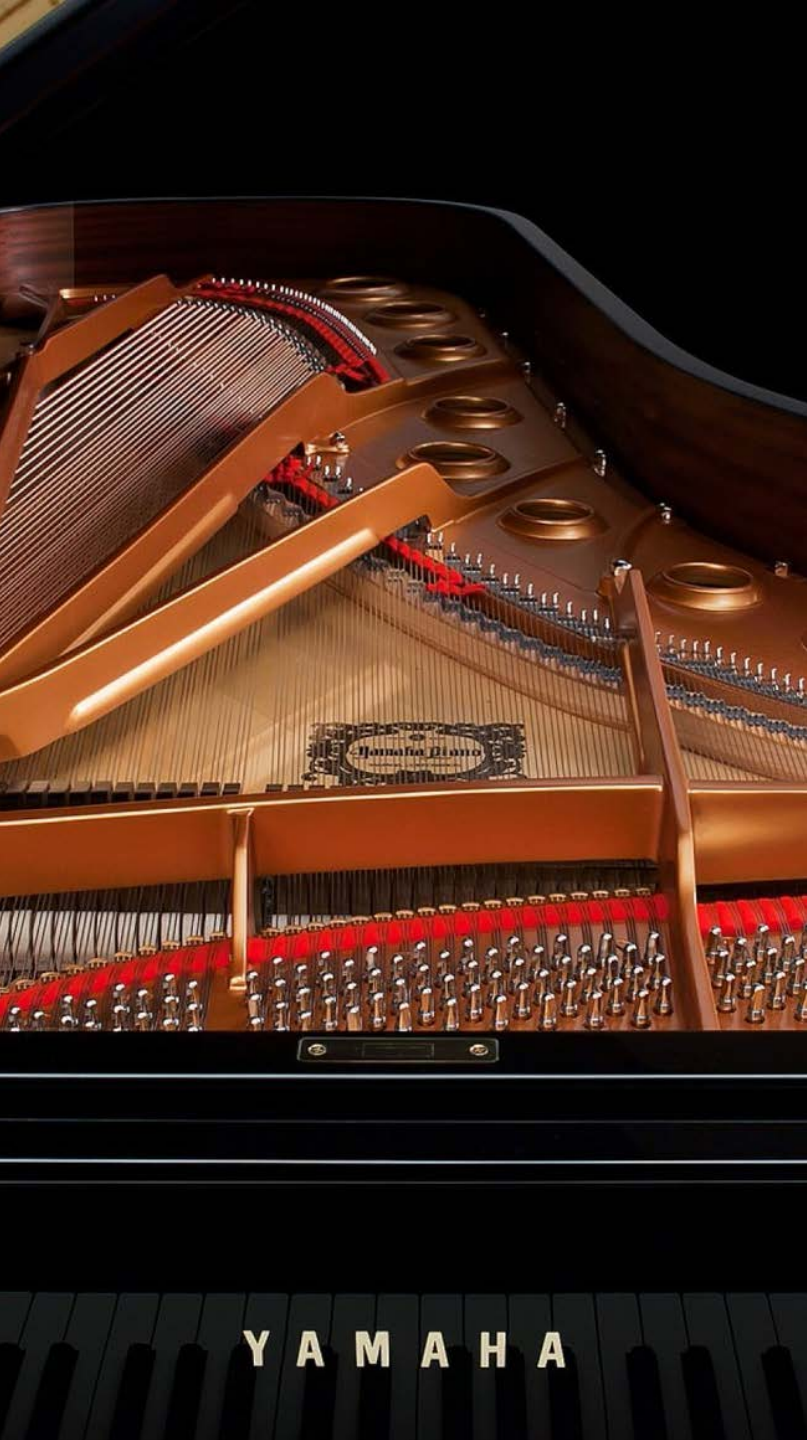
【22/3月期 通期実績】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による影響からの回復が進み増収増益
- ・ 半導体調達難による供給不足が継続
- ・ 事業利益は、物流・調達コスト増あるも、増収効果により増益

業績予想

【23/3月期 通期予想】

- ・ 半導体調達難の影響が音響機器中心に残るが、楽器の供給不足改善により増収増益を予想



Y A M A H A

1. 決算概要

業績概要

(億円)

	21/3	22/3	前期比	
			前期	比
売上収益	3,726	4,082	356	+9.5% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	407 (10.9%)	430 (10.5%)	23	+5.7%
当期利益 ^{*1}	266	373	106	+40.0%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +4.0%
(為替影響除く)

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	106	112
	EUR	124	131
利益 (決済レート)	US\$	106	112
	EUR	121	131

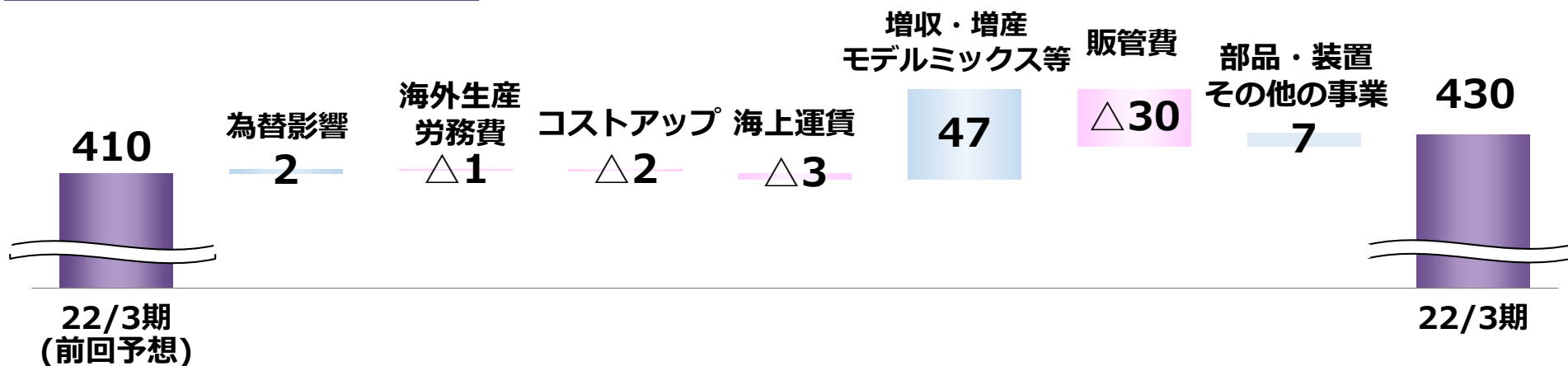
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



事業別業績

(億円)

		21/3	22/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,390	2,762	372	154
	事業利益	324	373	49	66
	事業利益率	13.6%	13.5%	△0.1P	
音響機器事業	売上収益	1,038	969	△69	43
	事業利益	71	15	△55	9
	事業利益率	6.8%	1.6%	△5.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	298	351	53	8
	事業利益	12	42	29	1
	事業利益率	4.1%	11.8%	+7.7P	

業績予想

(億円)

	22/3	23/3	前期比	
売上収益	4,082	4,400	318	+7.8% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	430 (10.5%)	500 (11.4%)	70	+16.2%
当期利益 ^{*1}	373	375	2	+0.7%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +6.3%
(為替影響除く)

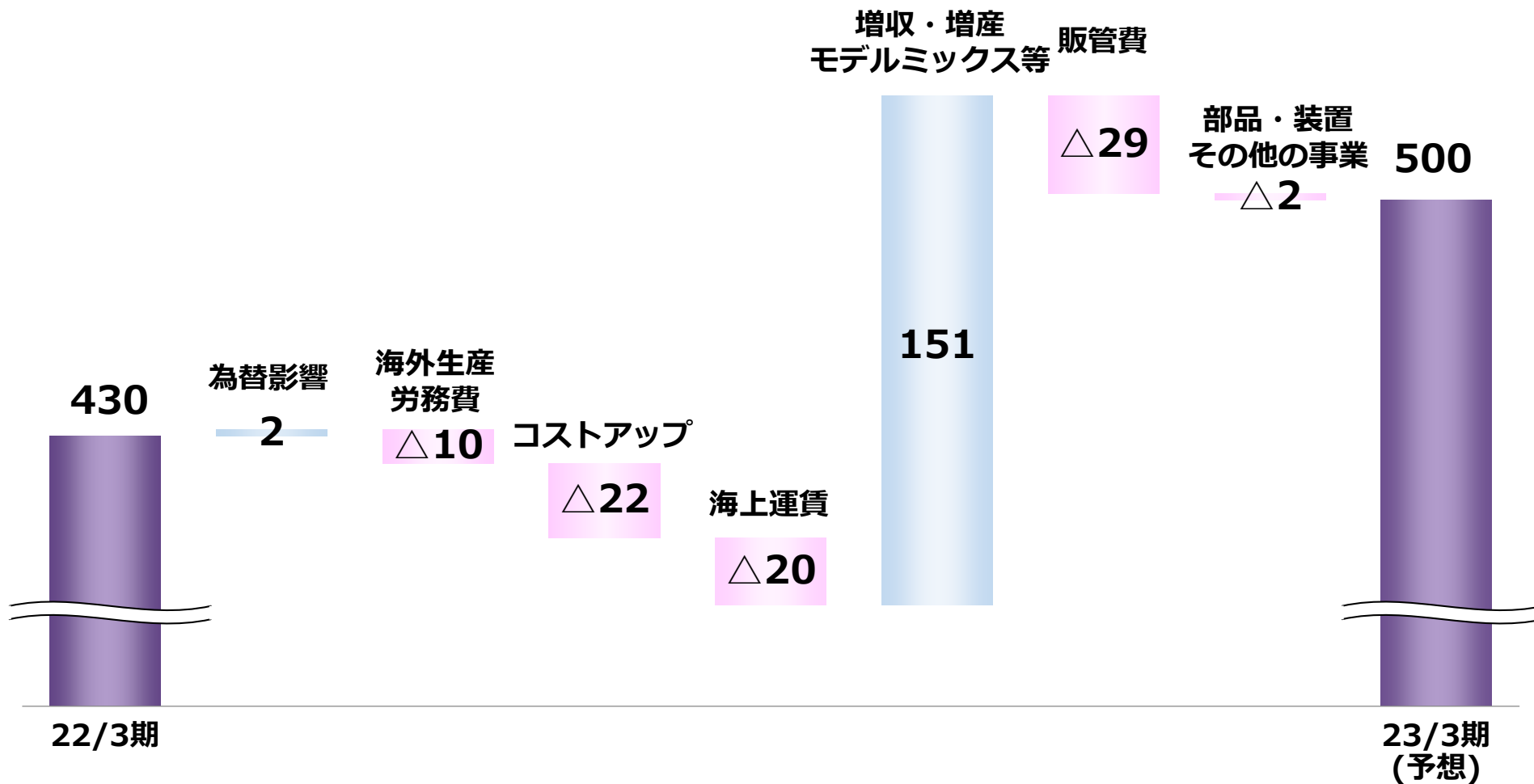
為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	112	115
	EUR	131	130
利益 (決済レート)	US\$	112	115
	EUR	131	130

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



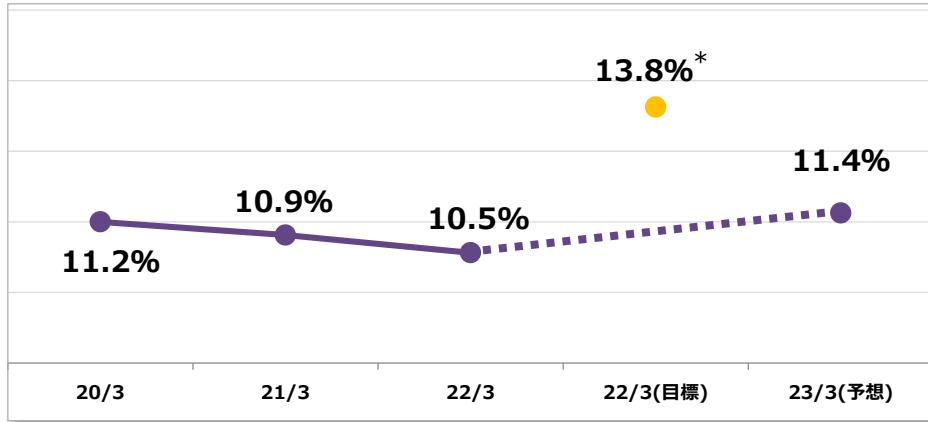
事業別業績予想

(億円)

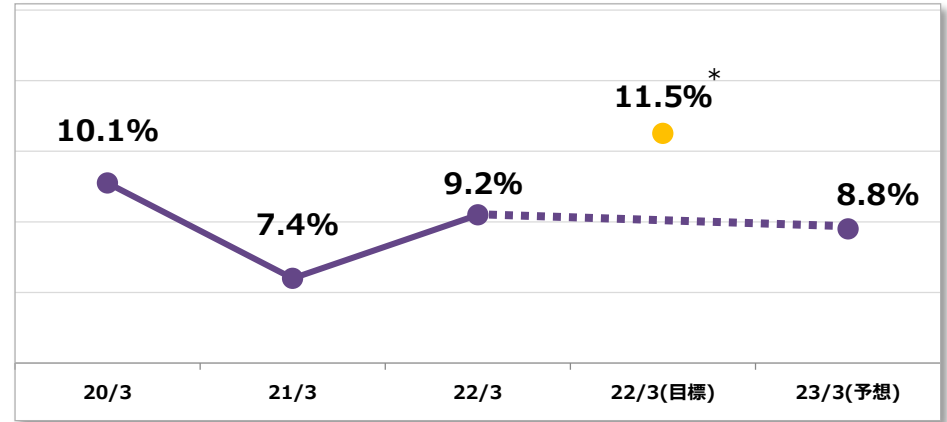
		22/3	23/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,762	3,020	258	48
	事業利益	373	430	57	7
	事業利益率	13.5%	14.2%	+0.7P	
音響機器事業	売上収益	969	1,000	31	9
	事業利益	15	30	15	△5
	事業利益率	1.6%	3.0%	+1.4P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	351	380	29	4
	事業利益	42	40	△2	0
	事業利益率	11.8%	10.5%	△1.3P	

主要経営数値

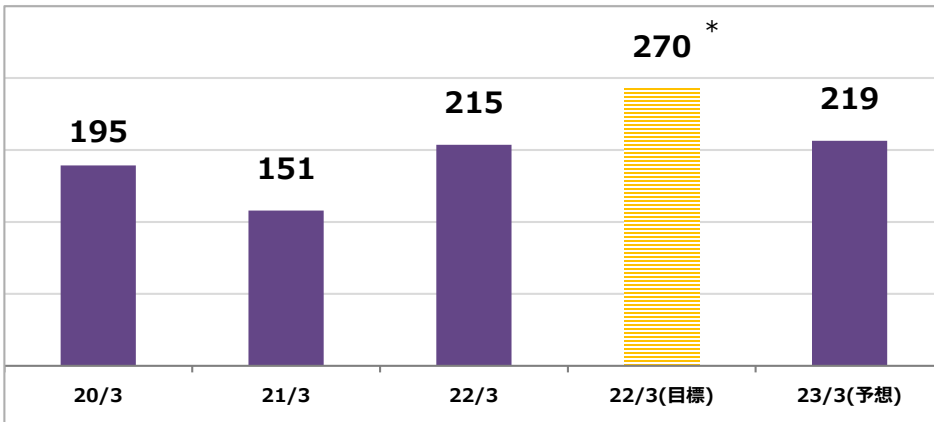
事業利益率



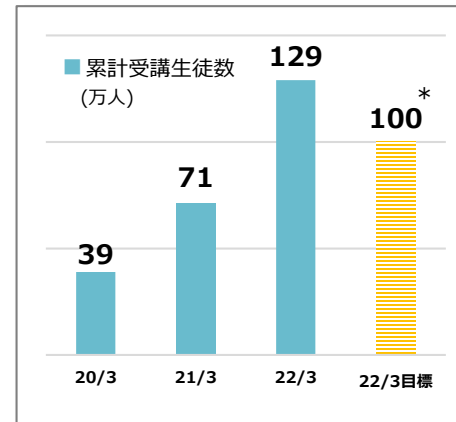
ROE



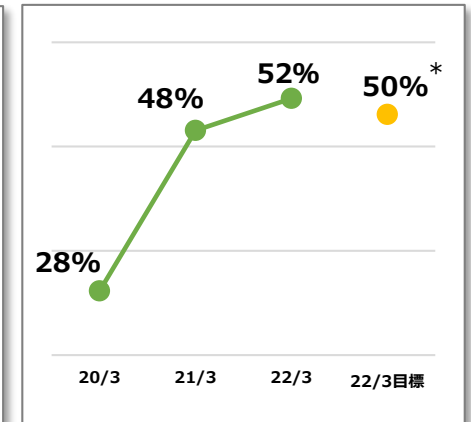
EPS (円)



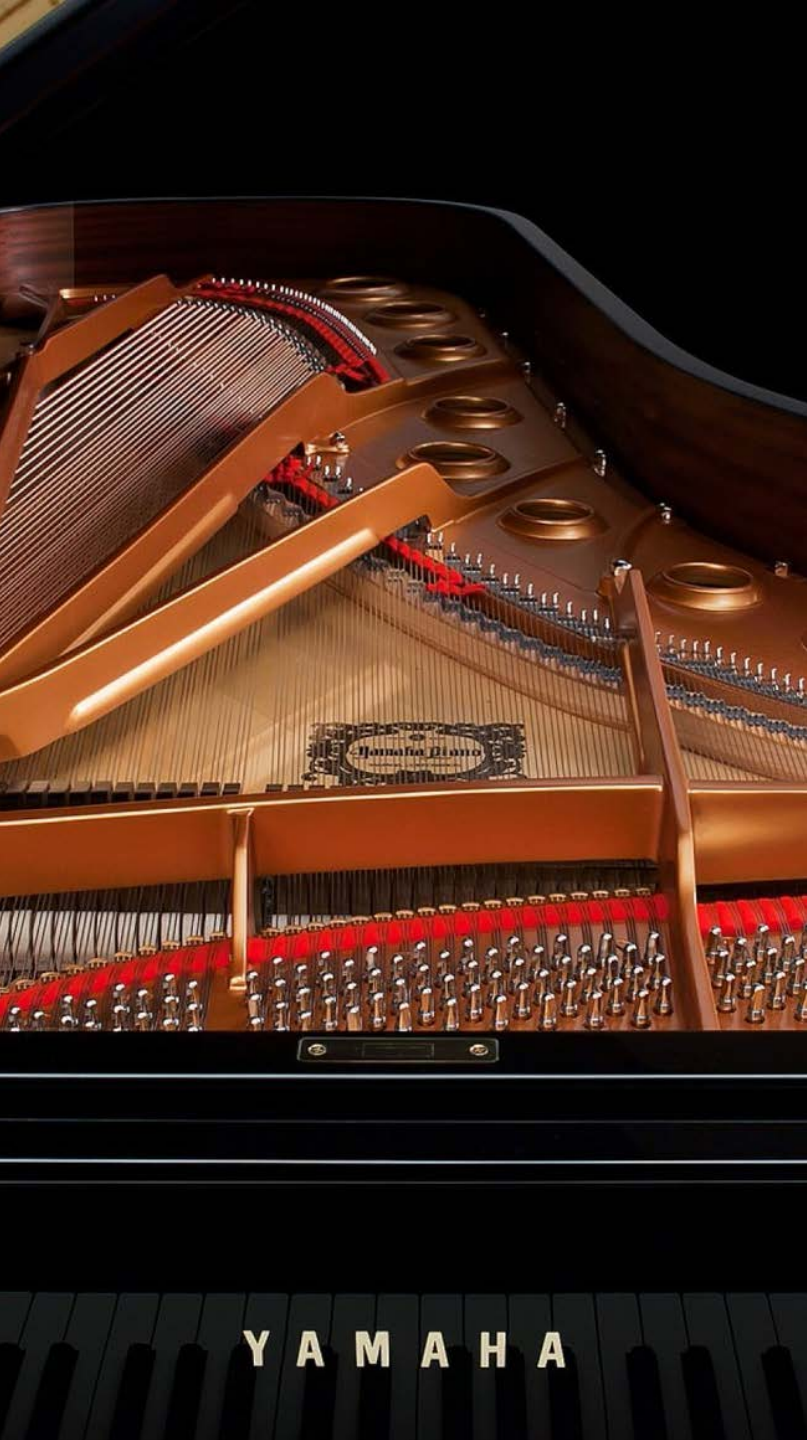
【器楽教育普及活動の推移】



【認証木材使用率の推移】



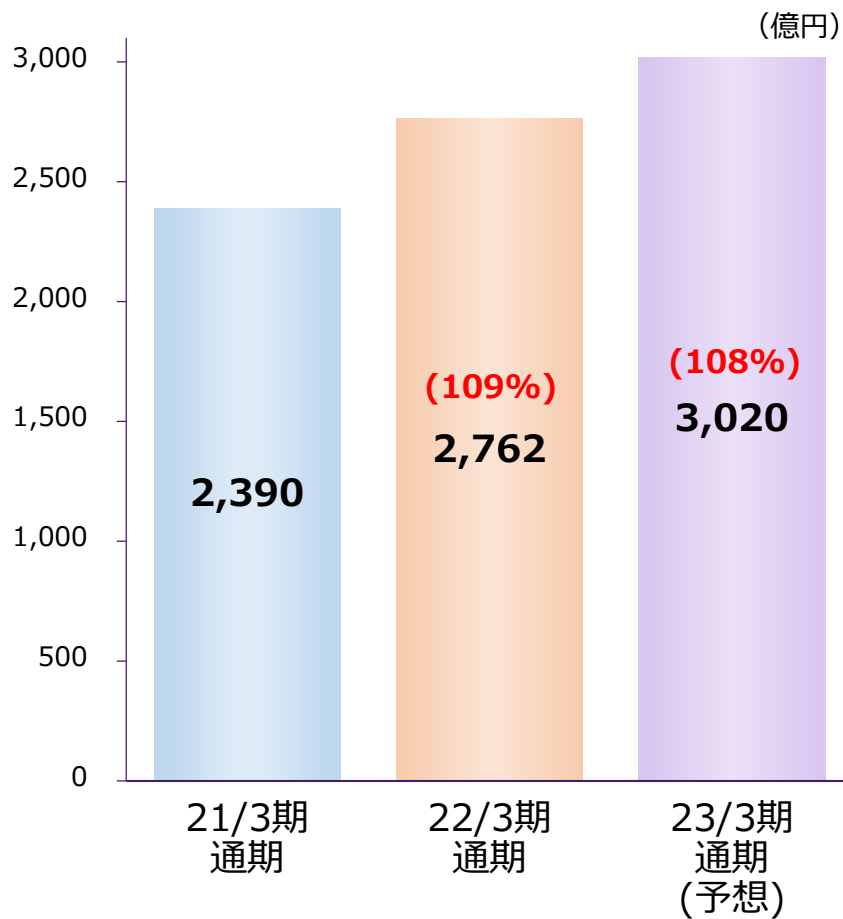
* 中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）における目標値



2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前同期比増減

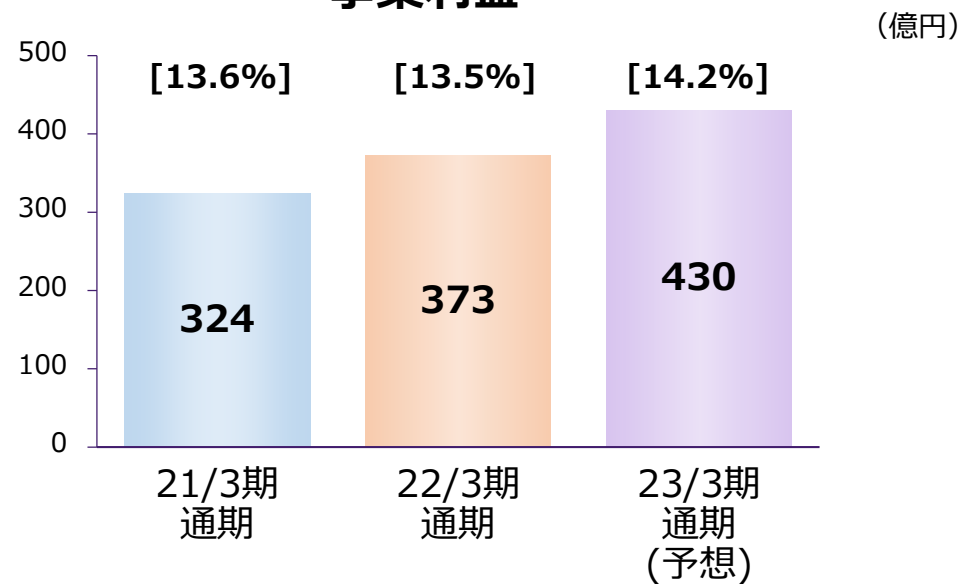
[22/3期] 全カテゴリー増収

- ・ピアノ・管弦打は2桁の増収、電子楽器は半導体調達難あるも供給回復が徐々に進み増収、ギターは供給不足が続くも需要旺盛で増収
- ・各地で市況回復が進み全地域増収

[23/3期] 全カテゴリー、全地域で増収を予想

- ・半導体調達難の影響解消により供給不足の改善を見込む

事業利益



[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

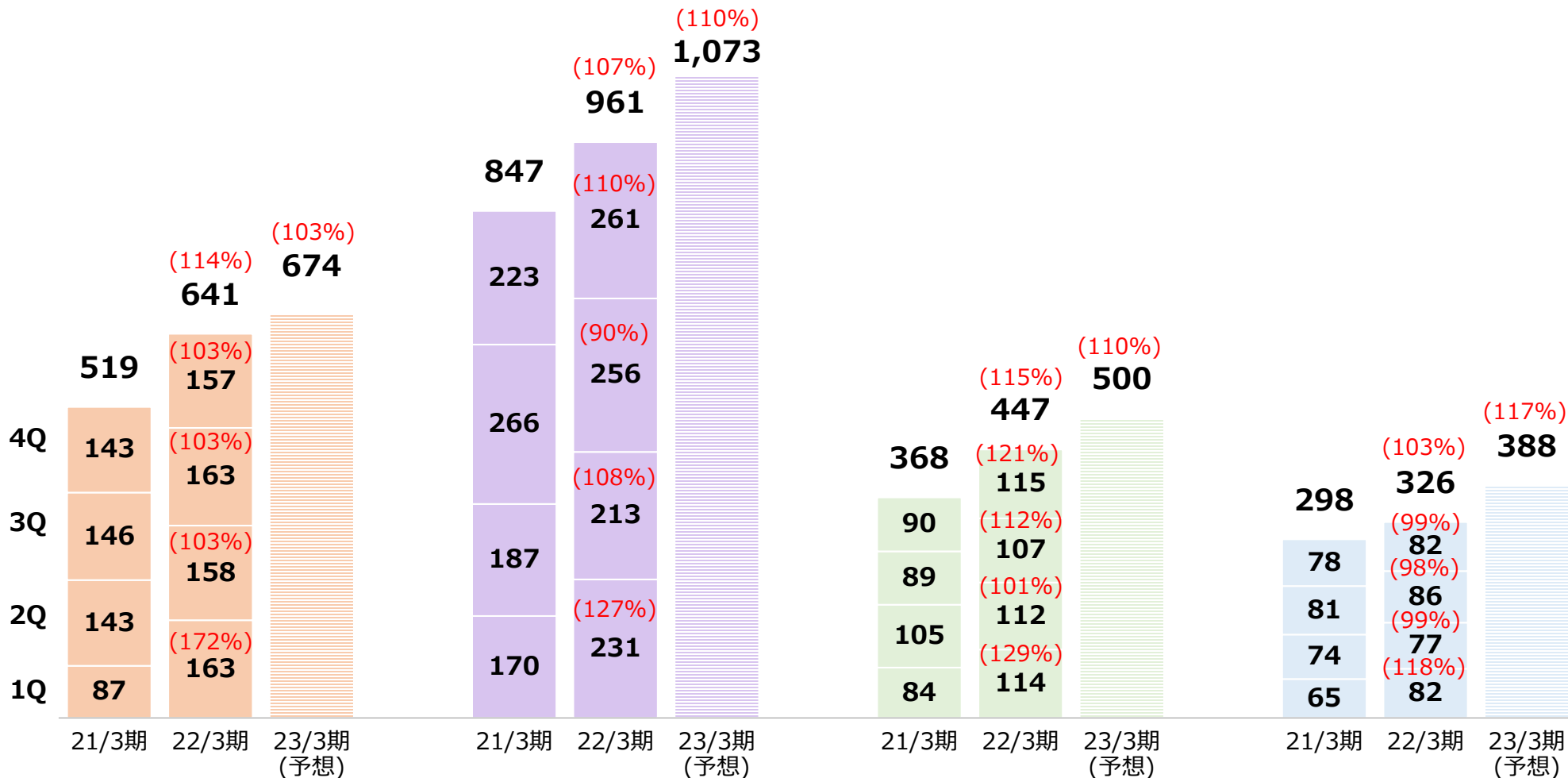
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

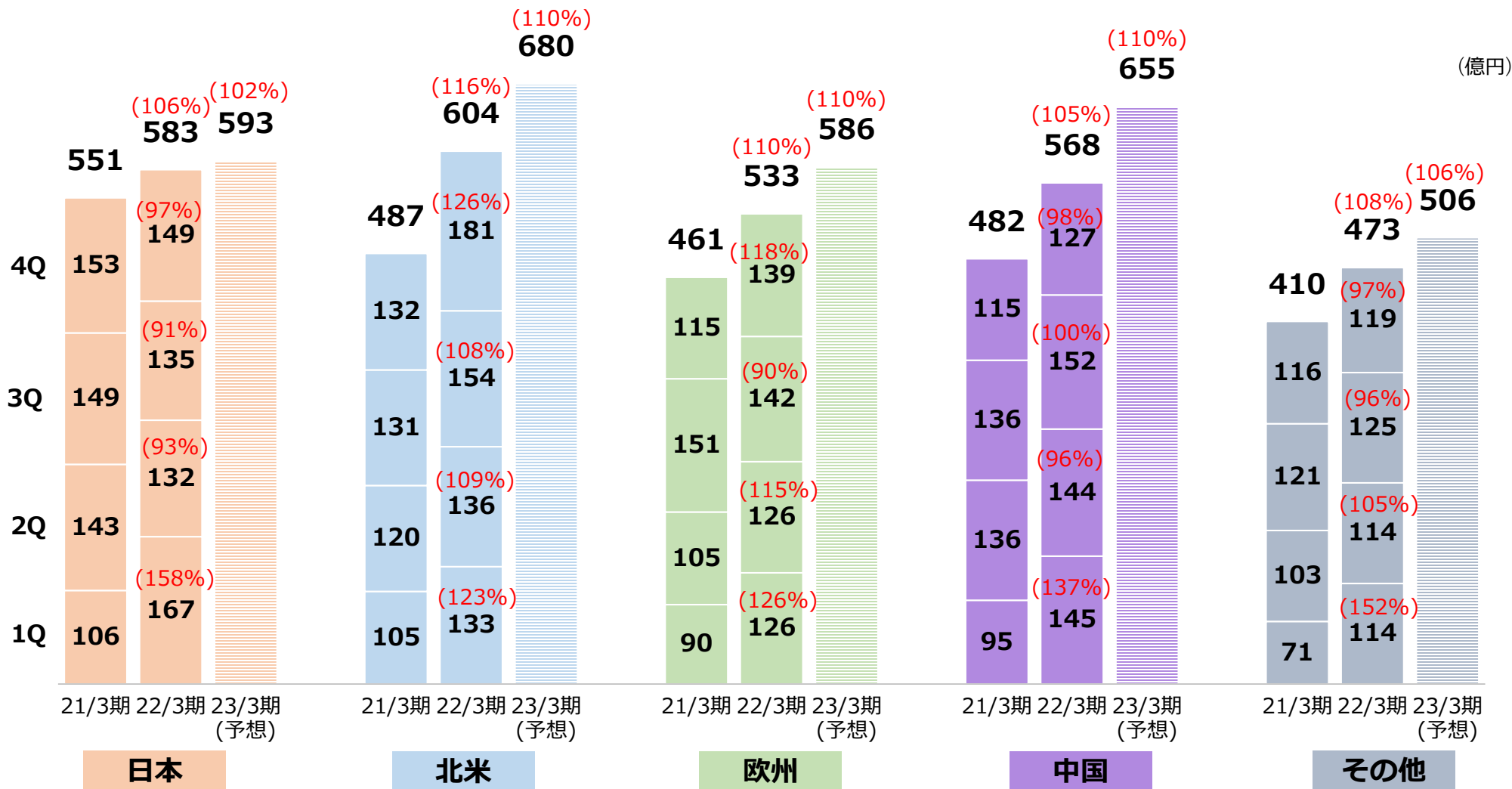
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 12

地域別 販売状況



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

個性際立つ商品の開発

幅広い技術を融合した個性的な商品群

コンサートグランドピアノ
『CFX』



ピアニストとの一体感を実現する
次世代のコンサートグランドピアノ

電子ピアノ「ARIUS」
『YDP-165』 『YDP-145』
『YDP-S55』 『YDP-S35』



卓越したピアノ性能を備えたエントリーモデル

電子キーボード
『PSR-E473』



新開発のサウンドエンジンを搭載
迫力ある多彩なサウンドを自由に表現

エレキギター
『REVSTARシリーズ』



個性的で洗練されたデザインで人気のシリーズ
6年ぶりにフルモデルチェンジ

トランスアコースティックギター
『FGC-TA』 『FSC-TA』



新たな演奏体験を提供する「TransAcoustic™」
搭載ギターのカタウエイモデル

個性際立つ商品の開発

幅広い技術を融合した個性的な商品群

Line 6 ギターアンプ
『Catalystシリーズ』



高品位なサウンドに
高い操作性を備えた新ラインアップ

Line 6 エフェクトペダル
『DL4 MkII』



世界中で人気のディレイ・エフェクター
“グリーンボックス”が初のモデルチェンジ

サイレントベース
『SLB300PRO』



アコースティックベースに
限りなく近づいたサウンドと演奏感

ブランド価値の高揚、ヤマハの成長を支えるYamaha Design

「Red Dotデザイン賞」「iFデザインアワード」受賞商品

「Red Dotデザイン賞」は、最高賞である「Best of the Best」を初の2つ同時受賞



カジュアル管楽器 Venova
『YVS-120/YVS-140』



reddot winner 2022
best of the best



ワイヤレスヘッドホン
『YH-L700A』
(日本国内未発売)

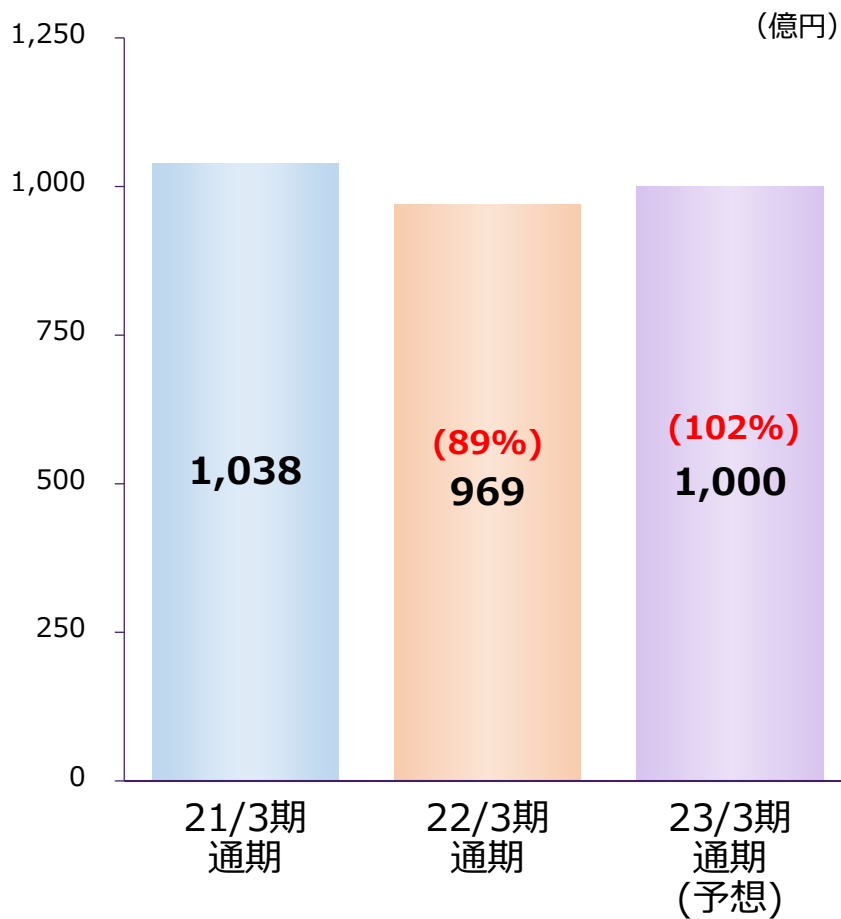


reddot winner 2022
best of the best



売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[22/3期] AV・ICTは減収、PAは増収

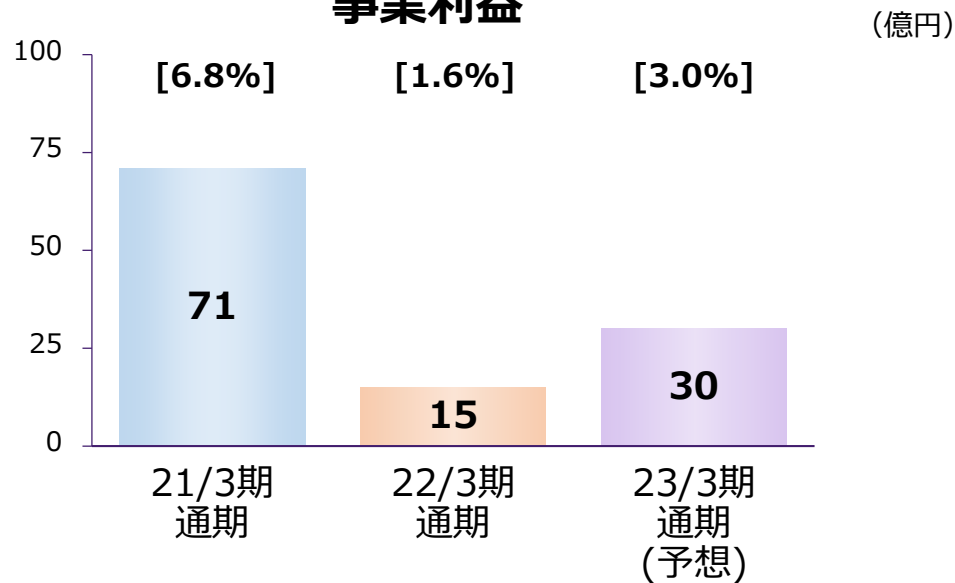
- AVは生産の一部挽回と不動態在庫の積極販売により減収幅が縮小
- PAはライブ市場の回復で増収も、4Qに半導体調達難の影響顕在化
- ICTはUC*高成長一服、ネットワーク需要堅調も供給不足で減収

[23/3期] 半導体調達難影響残るも増収を予想

- AVは下期に改善を見込んでいた半導体調達難の影響が長引き減収を予想
- PAは半導体調達難の影響が長引くも、市場の回復が一層進み増収を予想
- ICTは半導体調達難の影響あるも、堅調な需要が続き増収を予想

*UC:会議システム

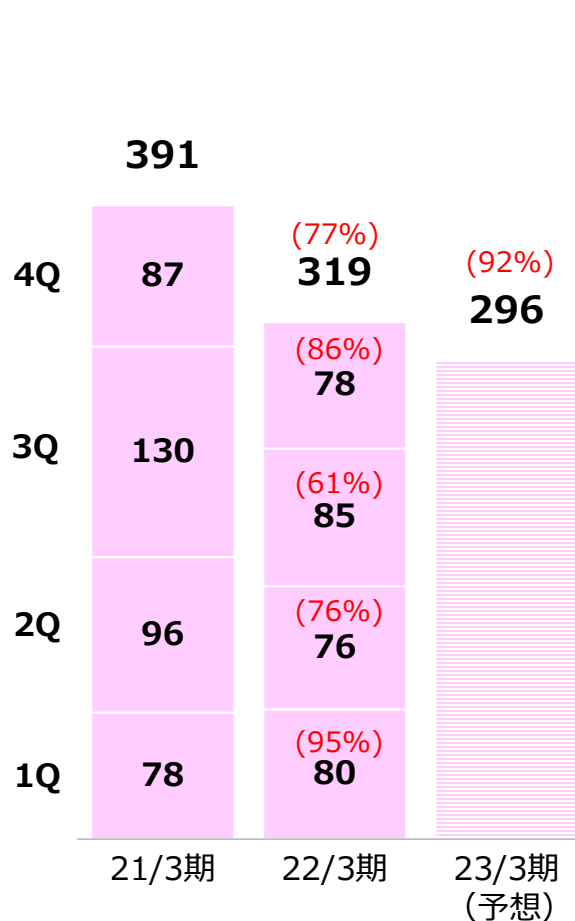
事業利益



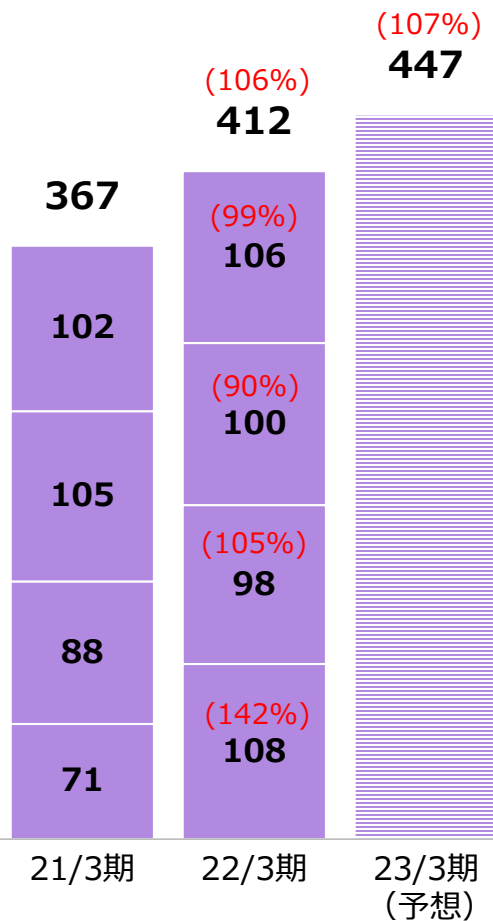
[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

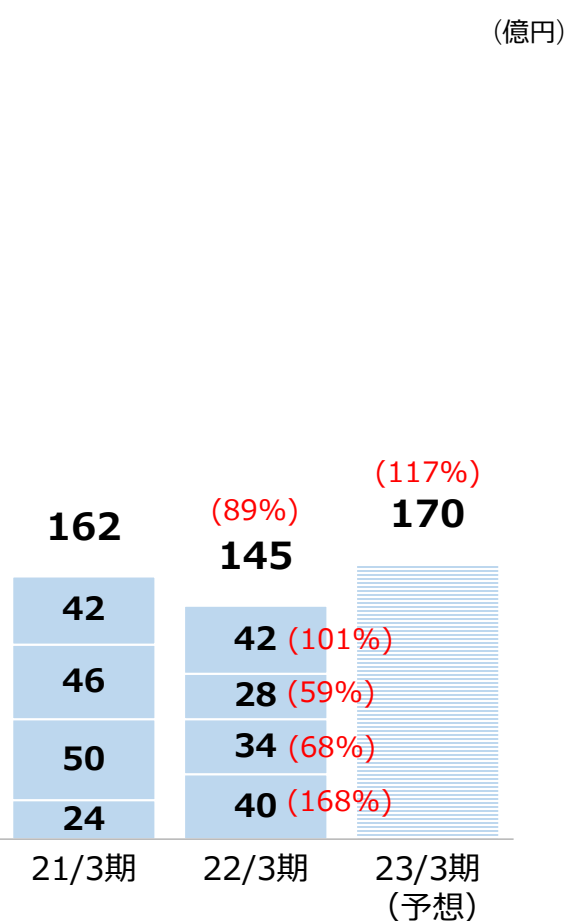
AV機器



PA機器



ICT機器

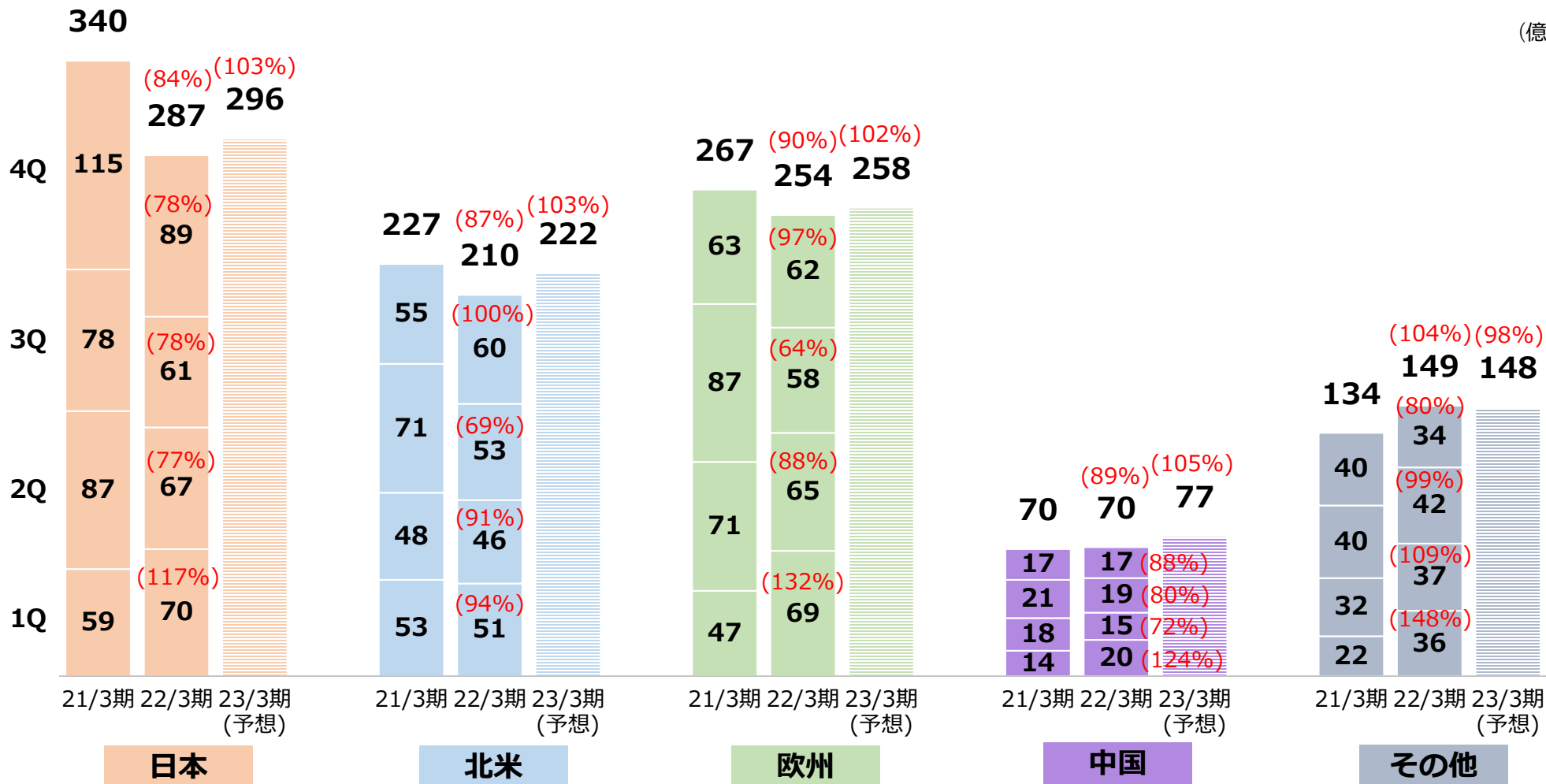


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

地域別 販売状況

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

個性際立つ商品の開発

多様なニーズに応える商品展開

完全ワイヤレスBluetooth®イヤホン
『TW-E5B』



深い音楽・エンターテインメント体験を
最新技術とUX設計によって高い次元で実現

パワードモニタースピーカー
『MS101-4』



小型化&パワーアンプの高出力化を実現

ライブストリーミングミキサー
『AG06MK2』 『AG03MK2』
コンデンサーマイクロフォン
『YCM01』



白黒2色カラー展開
個人向けライブ配信に最適

ミキシングコンソール
『MG16X』 『MG12X』 『MG10X』



ライブやイベントなど多様な現場に最適な
エフェクト標準搭載モデル

I/Oラック
『RUio16-D』



コンパクトながら堅牢性の高い
筐体を持つインターフェース

スタインバーグ ソフトウェア
『Cubase 12』 『Dorico 4』



Appleシリコン、クラウドライセンス
対応の音楽制作・楽譜作成ソフトウェア

個性際立つ商品の開発

遠隔コミュニケーションの多様化に対応

柔軟な働き方、快適なコミュニケーションを実現

遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション 『ADECIAワイヤレスソリューション』



Withコロナ、アフターコロナ時代に最適な遠隔会議を実現

埋込型平面スピーカーシステム『YFS』



オフィス家具などに組み合わせて
「音」の付加価値をあたえる薄型指向性スピーカー

ユニファイドコミュニケーション スピーカーフォン『YVC-331』



『YVC-330』の性能はそのままに USB接続に特化
4~6名程度の会議に最適なモデル

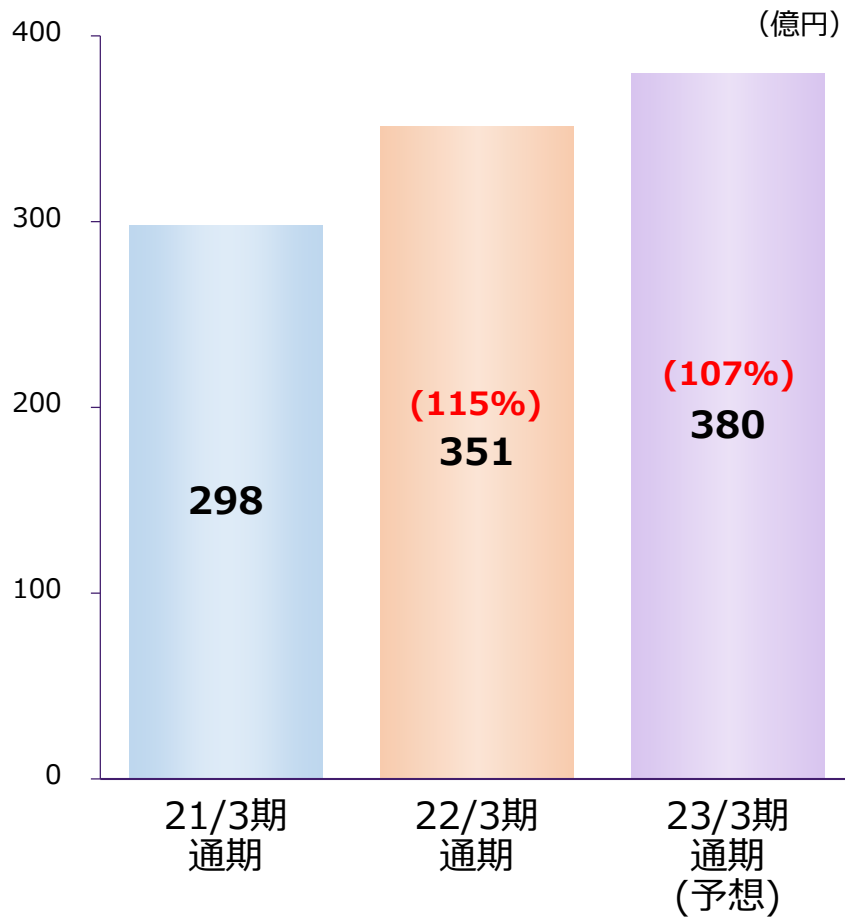
スマートL2スイッチ『SWX2220-10NT』 スマートL2 PoEスイッチ『SWX2221P-10NT』



オフィスの無線LAN環境や
ネットワーク全体の高速化を実現

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

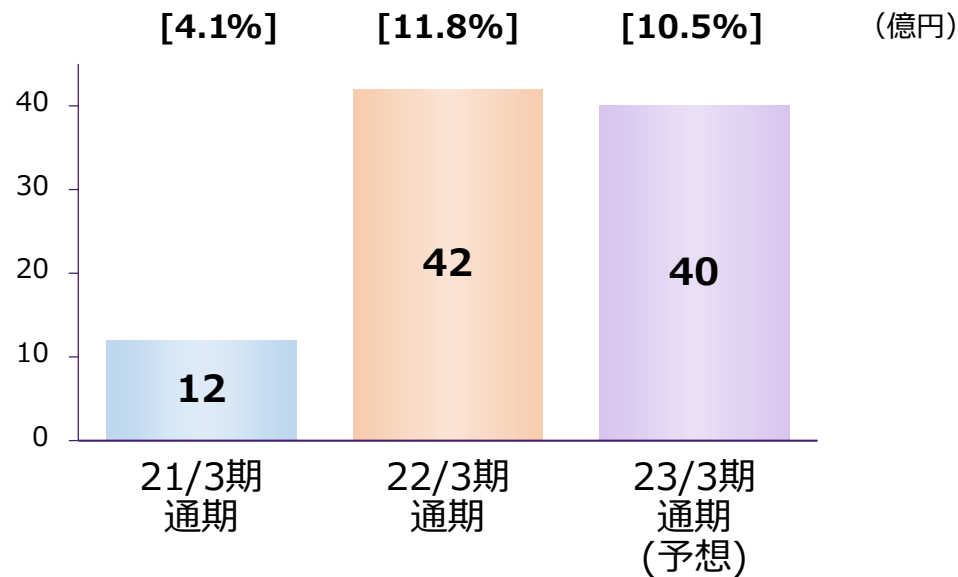
[22/3期]

・市況回復により電子デバイス、自動車用内装部品は増収、FA機器は減収

[23/3期]

・車載関連ビジネスの拡大を予想するも、半導体調達難影響あり伸びは限定的

事業利益



[]内は事業利益率

個性際立つ商品の開発

成長市場である車内のトータルソリューション領域へシフト

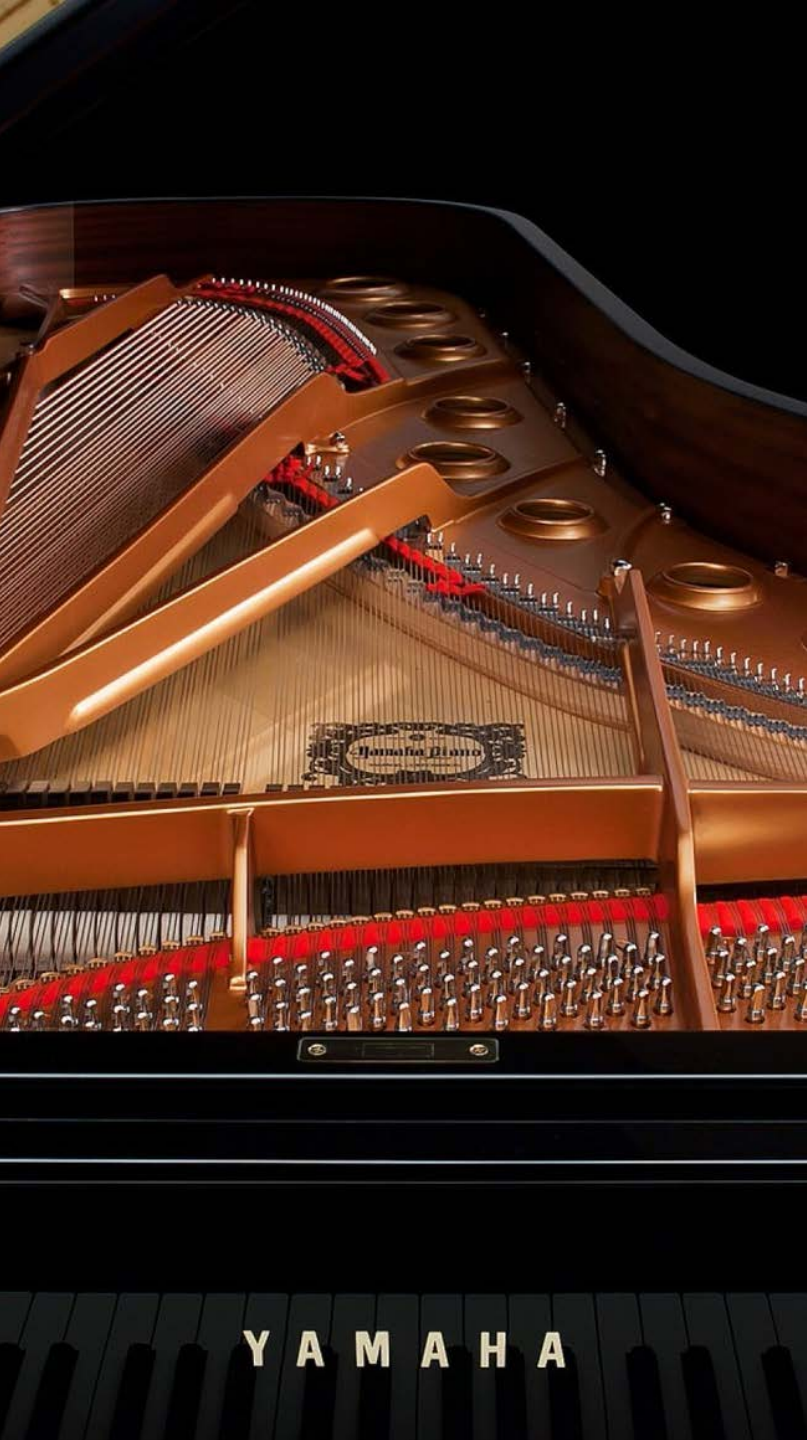
立体音響の圧倒的な没入感を車の全シートで楽しめる技術を開発
量産に先駆けて自動車メーカーに向けたデモを開始



立体音響の圧倒的な没入感を全シートで楽しめる



スピーカーシステムの概観



3. その他財務数値

貸借対照表

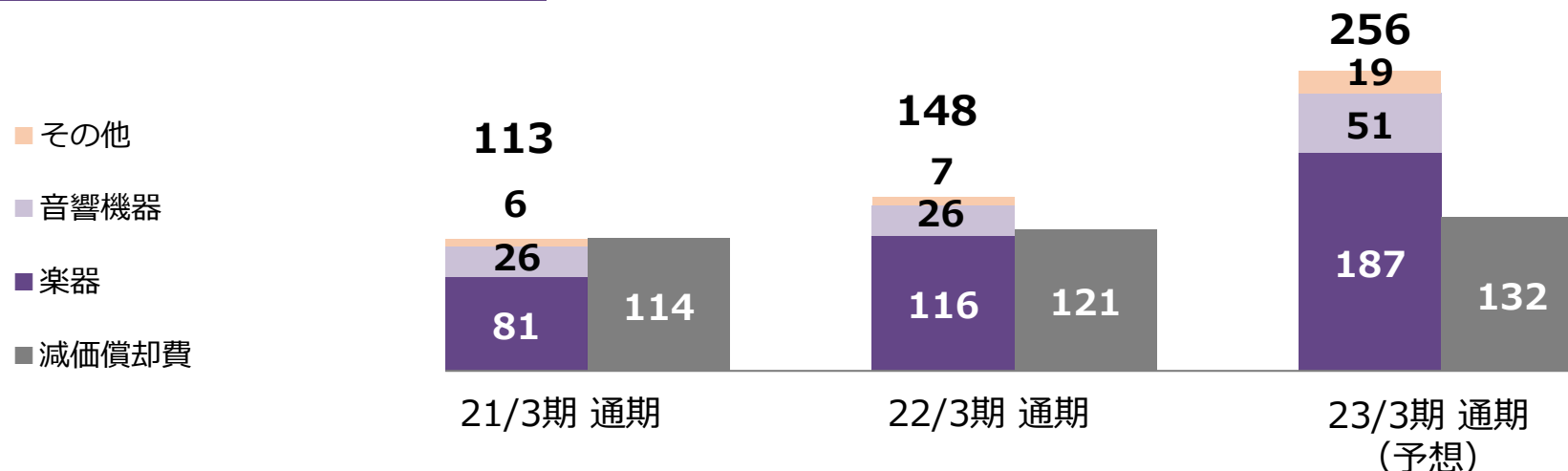
(億円)

	21/3末	22/3末	増減	23/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,293	1,725	432	1,580
営業債権他	573	600	27	645
その他金融資産	86	44	△42	45
棚卸資産	968	1,186	218	1,250
他流動資産	91	72	△19	100
非流動資産	2,565	2,183	△383	2,260
資産計	5,576	5,809	233	5,880
流動負債	1,009	1,261	253	1,080
非流動負債	598	389	△209	380
資本計	3,969	4,159	190	4,420
負債及び資本計	5,576	5,809	233	5,880

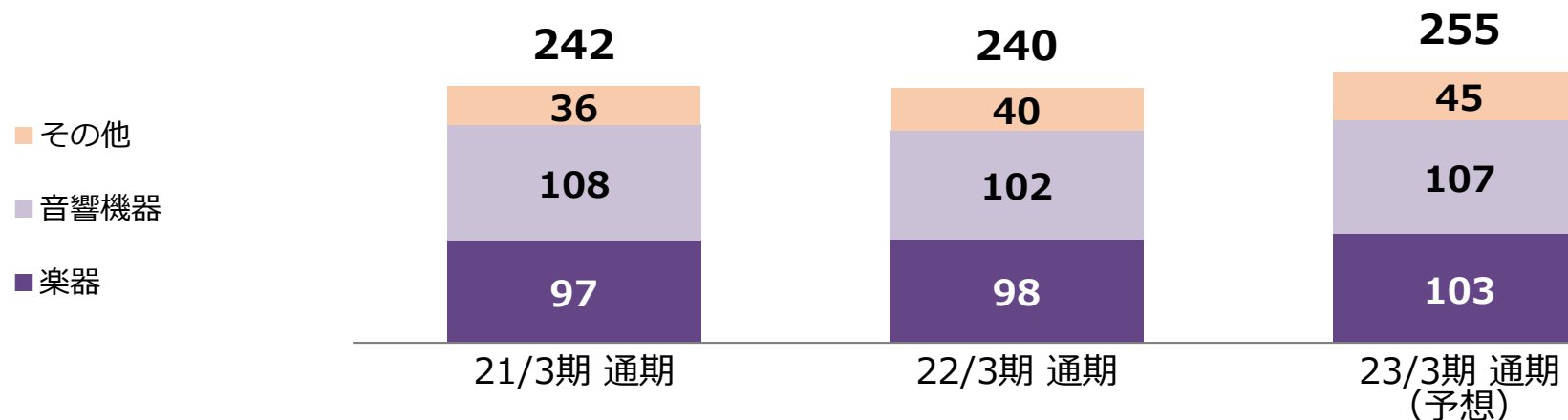
設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

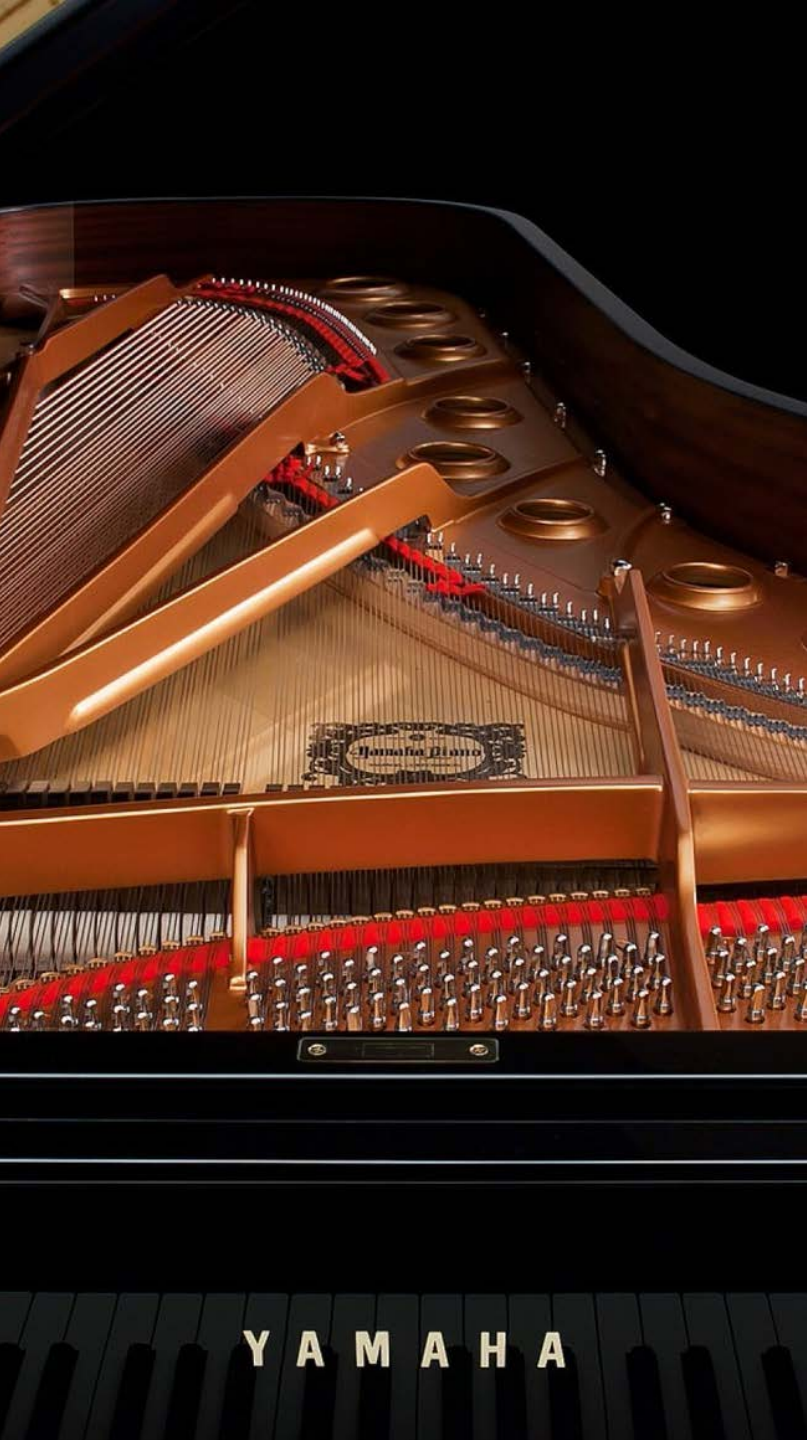
設備投資額・減価償却費

(億円)



研究開発費





4. ESGの取り組み

ESGトピック

事業を通じ、音楽文化・社会の持続的発展に貢献する

文化

音楽文化の サステナビリティに貢献

新興国での器楽教育普及

7カ国 累計129万人

(22年3月期末目標 7カ国 累計100万人)



コロナ禍での活動風景



アフリカ・中東地域での活動開始

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21121503/

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21121502/

社会

ともに働く人々の 多様性、働きがい向上

健康経営銘柄2022初選定

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22030901/



ダイバーシティ&インクルージョン 推進

管理職女性比率 16.5% (グループ)

(22年3月期末目標 17%)

国際女性デーの啓発活動

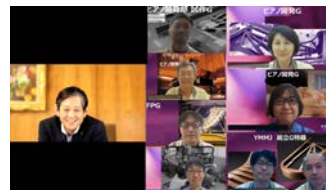
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22030801/

階層・部門を越えた対話拡充

社長リモート職場訪問

年26回実施

延べ730名参加



環境

自然との共生

持続可能な木材利用

認証木材採用率 52%

(22年3月期末目標 50%)

温室効果ガス排出量削減

再生可能エネルギー導入拡大

本社事業所購入電力100%再生エネルギー化達成

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2021/21050701/

CDP*2021 サプライヤー・ エンゲージメント・リーダーに選定

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22021401/



* 企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体

トピック

S&P Global社サステナビリティ評価 Yearbook Member 2022/ Industry Mover 2022 初選定

Sustainability Yearbook
Member 2022

S&P Global

Sustainability Award
Industry Mover 2022

S&P Global

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22030401/

ヤマハグループ統合報告書2021が GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に選定



<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index選定

GPIFが採用する5本の国内株式ESG指数全てに選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標) はここにヤマハ株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan/>

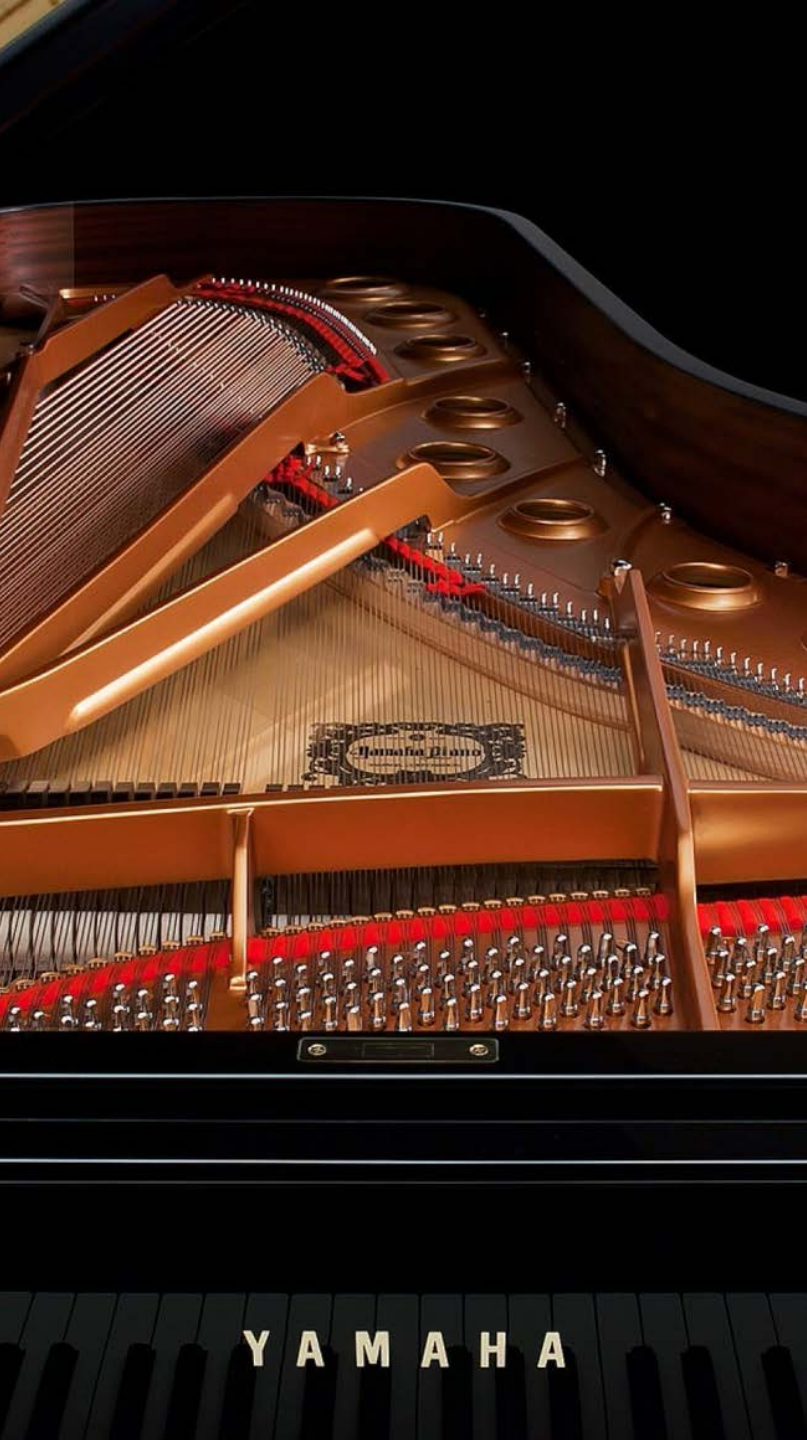
Best Japan Brands 2022で

ヤマハブランドが28位*に上昇

Interbrand
**Best
Japan
Brands
2022**

*ブランドを共有するヤマハ株式会社とヤマハ発動機株式会社の合算値

<https://www.yamaha.com/ja/information/2022/22040501/>

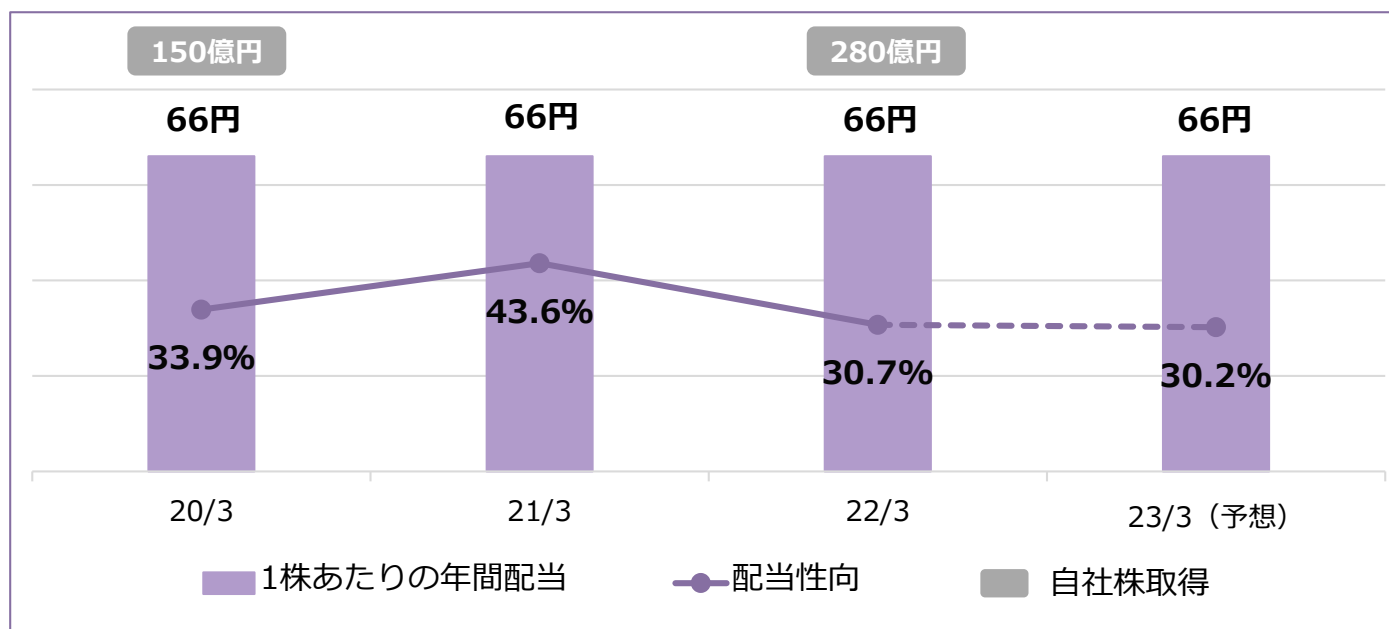


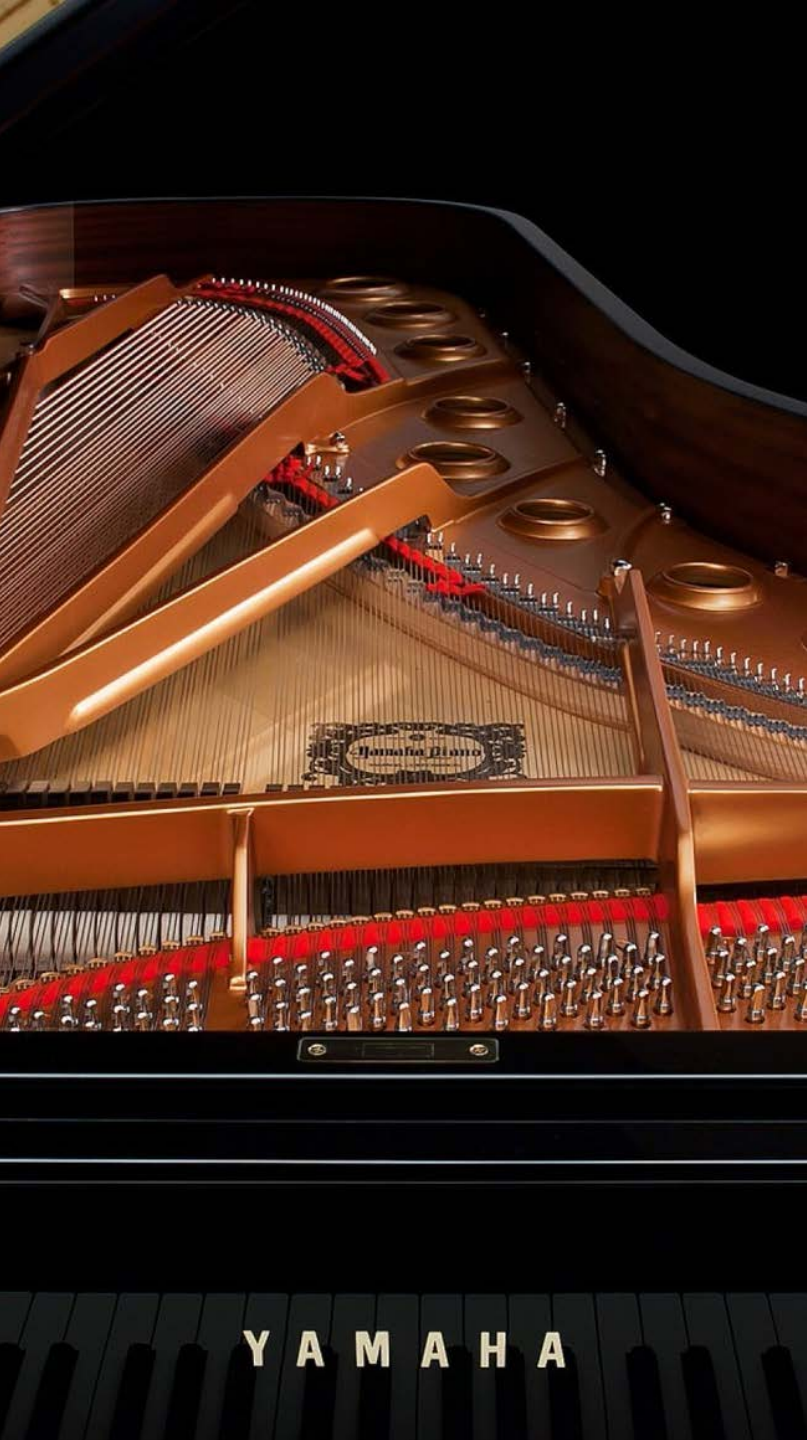
5. 株主還元

配当・総還元性向・配当性向

	20/3	21/3	22/3	23/3 (予想)
1株あたりの年間配当	66円	66円	66円	66円
総還元性向	78.8%*			-

* 中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)における3年累計の実績 (目標値:50%)





付属資料

4Q 業績概要

(億円)

	21/3		22/3		前期比	
売上収益	1,003		1,059		55	+5.5% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	117 (11.6%)		82 (7.7%)		△35	△30.2%
当期利益 ^{*1}	90		73		△17	△19.4%
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益						
為替レート (円)						
売上収益 (期中平均)	US\$	106	116			*2 +0.4% (為替影響除く)
	EUR	128	130			
利益 (決済レート)	US\$	105	115			
	EUR	126	132			

4Q 事業別実績

(億円)

		21/3	22/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	631	715	84	38
	事業利益	94	82	△12	12
	事業利益率	14.9%	11.5%	△3.4P	
音響機器事業	売上収益	290	262	△28	10
	事業利益	20	△0	△20	△1
	事業利益率	6.9%	△0.1%	△7.0P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	83	82	△1	3
	事業利益	3	△0	△3	0
	事業利益率	3.3%	△0.3%	△3.6P	

通期 その他収支等

(億円)

		21/3	22/3	23/3 (予想)
事業利益		407	430	500
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△1	46	0
	その他	△56	17	0
	計	△57	63	0
営業利益		350	493	500
金融収支計	受取配当金	27	34	23
	その他	△6	3	△3
	計	21	37	20
税前利益		371	530	520
法人所得税費用		104	157	144
非支配株主利益		1	1	1
当期利益*		266	373	375

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。